

第4回新発田駅前複合施設管理運営図書館専門委員会概要

日時 平成26年12月4日(木)

14時30分～16時30分

場所 図書館3階会議室

参加団体

市からは、新発田駅前複合施設建設室と市立図書館職員計7人が参加、専門委員として13団体 13人から参加いただいた。

専門委員会の構成団体は、近年図書館と共同で事業実施を行っている17団体で、構成団体名は次のとおりである。

新発田市立図書館協議会

新発田市立図書館後援会

無門会 ー【欠席】

指人形かっぱ ー【欠席】

おはなしぱたぼん

おはなしのとびら

小さな絵本の読み聞かせ アイリス

陽塾0254

新発田市立図書館利用者友の会

新発田市立図書館を考える会

新発田郷土研究会

新発田古文書解読研修会

新発田市立図書館豊浦分館 ー【欠席】

新発田市立図書館紫雲寺分館

新発田市立図書館加治川分館

新発田市立五十公野分館

新発田市立川東分館 ー【欠席】

— 委員会概要 —

議事

(1) 駅前複合施設における図書館の管理運営方針について

① 前回までの協議題への追加意見、要望

検討項目	項目詳細	専門委員意見
サービス計画について	実現・協力可能なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民参画型の図書館を実現するために、図書館と人、学校、ボランティア団体等をつなぐ手伝いをしたい <ul style="list-style-type: none"> ・ 古本市の開催 ・ 今の若者は短文に慣れている為、優れた日本の短文の文化に接する機会を設ける ◆ハンディキャップサービスの充実として、ボランティアセンター登録団体とのつなぎの役割
	図書館にやって欲しいサービス	<ul style="list-style-type: none"> ◆中央図書館の機能を充実させて、分館ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分館ボランティアの方たちとの交流会や研修会の開催 ◆図書館ホームページの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新刊図書の検索をジャンル別にできるようにして欲しい ◆児童図書の充実 ◆新館移転を機に古い本は閉架に移動して、市民の希望に沿った本の購入をして欲しい
情報通信技術等について	インターネットの利用について	<ul style="list-style-type: none"> ◆静かな読書環境の保護のために、インターネット利用の場所を限定する必要がある

② 情報発信について

情報発信の方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 管理運営方針の骨太の方針(4つの柱)という視点から入って行くと、目標を達成するための活動内容、その活動の伝達方法というように、具体的な部分まで話を発展させることができる ◆ どういう図書館にするのか、そのためにはどういう情報を発信するのか、どういう人たちを対象に発信するのか、どういう方法とするのかの順序で考えるべきである ◆ 何を目指す図書館なのか、共通理念を確認してから話し合うべきである ◆ 坪川洵平さんの図書館寄贈理由・精神である『まちづくりの人材を育てる図書館』を基本に、発信していく必要がある
---------	---

<p>発信する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 図書館ホームページに図書館の関係団体の紹介、活動状況等を載せて欲しい ◆ 発信する情報の収集、蓄積、分析、活用について体制の整備が必要 ◆ 新発田市内だけでなく、近隣市町村の情報も収集して市民に伝わるようにして欲しい ◆ 図書館のホームページの導入部分が以前よりわかりにくい ◆ ホームページの図書館カレンダーを復活させて欲しい ◆ 新発田市は食育を推進しているが食品の生産に関する資料が不足している
<p>媒体・手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 駅前複合施設に図書館が入るといこと認知度が低いので、新聞、テレビなどのメディアとの関係を強化して、開館前のPRを大々的にしてもらいたい ◆ 駅前複合施設(図書館)の開館前見学会などを、学校、自治会単位で催行してはどうか ◆ 新発田市はどういう図書館を目指しているのかを、来館者にわかり易いように、目立つ場所に掲げるべきである ◆ 掲示物を図書館関係のもの、それ以外のものに区別して掲示して欲しい ◆ 掲示、撤去は図書館職員で行って欲しい ◆ 新潟市で、館内のポスター掲示・撤去に週1～2回活動しているボランティアグループ(7～8人)があり、イベントの適正な掲示に貢献していた ◆ サポート組織が発足したら、フェイスブックなどに団体登録して、こまめに情報を発信してはどうか ◆ 市立図書館職員による、学校、児童施設、社会福祉団体への訪問、会合の出席などを、きめ細かく行って利用者増を図って欲しい ◆ 市立図書館職員が直接出向いて学校図書室の支援をする必要があり、それが図書館の広報となり、利用者増につながる ◆ 現在の情報発信はポスター、広報しばたに頼っているが、広報車等、他の方法はないのか ◆ 公民館で開催の事業はどういう発信方法が良いのか、手さぐりしている状況 ◆ アンケート調査では、地域のロコミでの来館者が多い ◆ テーマを決めてチラシ、ポスターを作り、ターゲットを絞ったうえ、民間棟を活用して発信してはどうか

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 年代によって情報を得る方法が違うので、発信の方法として、公共の広報だけでなくフリーペーパー、地元雑誌等を利用してはどうか
<p>議論の方法 議事の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大きな方針に基づいて自分たちができるサービスについて考えることができるようになった ◆ 議論の内容が図書館だけになったり複合施設全体になったりするの で、基本方針をふまえる事が大切である ◆ 図書館が新発田市自身の発信機能を担う場合の情報発信という視点 での議論と、図書館の活動をどうやって市民に知ってもらおうのかという 視点での議論を分けないと、建設的な意見交換ができないのではない か ◆ 来年度、図書館の基本方針を策定する場合に、図書館職員と市民団 体が同じテーブルに就いて論議できるような委員会の在り方がよい ◆ 分館からは、複合施設建設は新発田駅前の立地から、遠いところの出 来事というイメージがある ◆ 専門委員会の会議の進め方として、議題を具体的に絞って問いかけ る形にして欲しい ◆ 意見の出し易い議事の設定をして欲しい ◆ 会議の資料を事前に送って欲しい